

## 2 研究の実際

### (1) 図画工作科の今後の方向性

新学習指導要領において、図画工作科の目標の柱書きに「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育てる」と示されました。図画工作科で育てる資質・能力は以下のように三つの柱で整理されています。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的によさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

文部科学省 『小学校学習指導要領』 平成 29 年 3 月 第 2 章第 7 節

これらの資質・能力を育成するための中核となるのが造形的な見方・考え方です。造形的な見方・考え方とは、「感性を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点でとらえ、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと」<sup>(1)</sup>と整理され、学習指導要領における〔共通事項〕と深く関わっていると示されています。

造形的な見方・考え方を働かせながら知識・技能を習得したり、造形的な見方・考え方を成長させることにより思考力・判断力・表現力が深まり、豊かなものになったりすると同時に、造形的な見方・考え方を通じて社会や世界とどのように関わるかという点が、学びに向かう力や人間性の育成に大きく作用する、と捉えることができます。造形的な見方・考え方を育成し、それらを主体的に働かせながら表現したり、鑑賞したりする活動を取り入れることが、これからの図画工作科の授業づくりに必要だと考えます。本研究で目指す「生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる」児童の姿とは、実生活の中で形や色などの造形的な視点で捉えたり、造形表現を生かして生活を楽しく美しくしようとしていたりする姿と捉えます。

### (2) 本研究における表現及び鑑賞の指導の考え方と具体的手立て

新学習指導要領の指導計画の作成と内容の取扱いによると、「題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようすること。その際、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ること」<sup>(2)</sup>と示されています。

図画工作科における「主体的・対話的で深い学び」を実現するにあたっては、児童が発想や構想をする場面、創造的な活動の中で技能を発揮する場面、作品などからよさや美しさを感じ取る場面において、「造形的な見方・考え方」を働かせるような指導が重要になってきます。奥村高明（2016）は「造形的な見方・考え方」は〔共通事項〕が児童において十分に活用された姿として見ることができると述べています。<sup>(3)</sup>

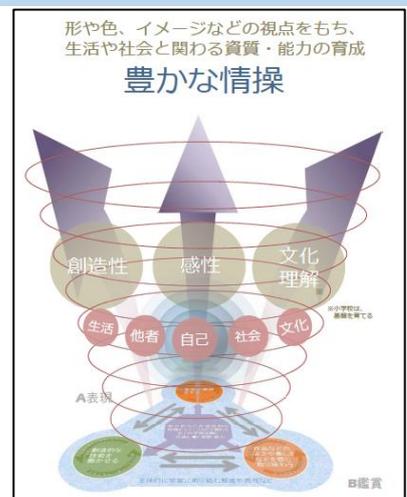


図1 図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）における学習過程のイメージ（その2）<sup>(4)</sup>  
図をクリックすると拡大します



表現活動や鑑賞活動をする際に、〔共通事項〕の(ア)形や色などをとらえること、(イ)形や色などをもとに自分のイメージをもつこと、この2つを意識するような言葉掛けやアドバイス、鑑賞の視点としてもたせます。鑑賞活動の時には「みたい」と、表現活動の時には「つくりたい」という思いを、また鑑賞活動の後半には「早く表現したい」という思いをもつように、ワークシートを工夫します。そうすることで、鑑賞活動と表現活動がスムーズに結び付くと考えられます。

このように、鑑賞活動を段階的に表現活動の間に入れる題材構成を仕組みます。また、これらの鑑賞活動を行うに当たって、場の設定を工夫します。(3)授業実践  で示しています。)

## ② 図画工作科の学習と生活や社会をつなげる手立て

図画工作科で学んだことが生活や社会の中で豊かに関わっているという実感を持つための手立てとして、題材のゴールに学校外に展示することを常に意識させます。相手意識をもつことで、相手の方が喜ぶように、元気付けるようにという思いをもったり、相手の見え方に配慮したりすることができると考えます。思いをもったり、見え方に配慮したりする際に「造形的な見方・考え方」を働かせると思われます。また、学校外に児童の作品を展示する機会を設けることで、児童の造形活動の意味や価値を広く伝えることができます。

さらに、児童の作品を鑑賞した学校外の方々から評価をしてもらいます。そうすることで、図画工作科の学習と生活や社会とつながっているということが実感できると考えます。

### 《引用文献》

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) 文部科学省    | 『小学校学習指導要領解説図画工作編』 平成 29 年 6 月 第 2 章第 1 節                                |
| (2) 文部科学省    | 『小学校学習指導要領解説図画工作編』 平成 29 年 6 月 第 4 章 1                                   |
| (3) 奥村 高明    | 『新教育課程ライブラリ<vol. 12> 見えてきた新学習指導要領—各教科等の検討内容』 ぎょうせい 平成 28 年 12 月 p. 42、43 |
| (4) 文部科学省    | 『教育課程部会 芸術ワーキンググループにおける審議の取りまとめ』 p. 46                                   |
| (5) 板良敷 敏 編著 | 『小学校図画工作科 基礎・基本と学習指導の実際 —計画・実践・評価のポイント—』 東洋館出版社 2002 年 3 月 p. 73         |

### 《参考文献》

- |         |  |
|---------|--|
| ・ 奥村 高明 | 『平成 29 年改訂小学校教育課程実践講座 図画工作』 ぎょうせい 2018 年 1 月       |
| ・ 阿部 宏行 | 『平成 29 年版小学校学習指導要領ポイント総整理 図画工作』 東洋館出版社 2017 年 10 月 |

**(3) 授業実践**

題材名 光のさしこむ絵

第4学年「A表現 (2) 絵や立体, 工作に表す/絵に表す」

**1 題材の目標**

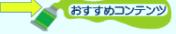
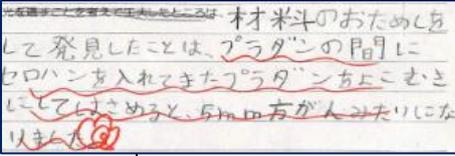
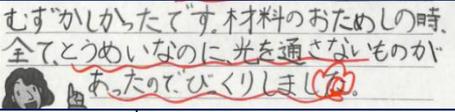
- 光を通すことによって生まれる形や色の美しさに関心を持ち、光の効果や材料の特徴から想像を広げ、絵に表す。

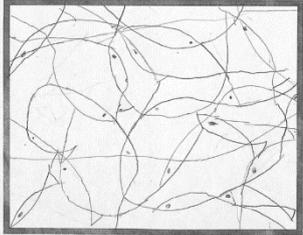
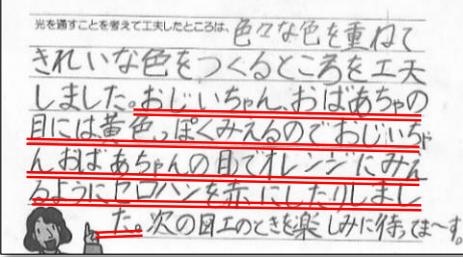
**2 題材の評価規準**

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
①光を通すことによって生まれる形や色、イメージを自分なりに味わおうとしている。 ②光を通すことによって生まれる形や色の面白さに興味を持ち、絵に表すことを楽しんでいる。	○光を通した時の形や色の見え方を試しながら、表したいことを見付けている。	○光を通した効果、高齢者の方(人)、高齢者施設(場所)を意識して、形や色の表し方を工夫している。	①光を通すことによって生まれる形や色、表し方や材料による感じの違いなどを捉え、よさや面白さを感じ取っている。 ②光を通すことによって生まれる形や色を見て、自分の思いを話したり、友達の考えを聞いたりして、表現の工夫を感じ取っている。

**3 指導と評価の計画**

時	主な学習内容	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステンドグラスの鑑賞をする。</li> <li>・光を通す素材を透明ビニールシートやプラスチック段ボール上で試す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〔共通事項〕の視点でステンドグラスのよさを見付けさせる。</li> <li>・光を通す素材の組み合わせや、形や色の変化を確認させる。</li> </ul>	関① 【観察、発言】 鑑①【観察、ワークシート】
2 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアスケッチをかく。</li> <li>・透明ビニールシートに絵をかいたり、貼ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の方に向けて制作することを伝え、意欲をもたせる。</li> </ul>	発 【観察、ワークシート】 技 【作品、ワークシート】
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作品のよいところを見付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞する際の視点を示す。</li> </ul>	関①【観察、ワークシート】 鑑②【発表、ワークシート】
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間鑑賞でのアドバイスや友達の作品を参考に、絵をかく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間鑑賞により発想が広がったところを変化させたり、アドバイスを生かしたりしながら表現するように促す。</li> </ul>	関② 【観察、作品】 技 【観察、作品】
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間鑑賞後に変化したところを発表する。</li> <li>・展示の方法や並べ方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示の方法や並べ方を、〔共通事項〕の視点で考えさせる。</li> </ul>	鑑②【発表、ワークシート】

次 時	主な学習活動	場の設定の工夫 (○) 授業改善の手立て (◆) 造形的な見方・考え方 生活や社会との関わり	題材の評価規準 【評価方法】
鑑賞 【素材鑑賞】 A	題材との出会い ・ステンドグラスの鑑賞をする。 	○光が差し込む窓辺でステンドグラスを鑑賞し、よさ、美しさを味わわせました。 ◆光を通す時と、通さないときの見え方の違いを比べました。 <u>【共通事項】の視点でステンドグラスのよさを見付けました。</u>	関①光を通すことによって生まれる形や色、イメージを自分なりに味わおうとしている。 【観察、発言】
	素材鑑賞 ・透明ビニールシートを通して光を通す素材を試してみる。 T:いろいろな材料を使って光を通したらどんな感じに見えるか、試してみましょう。 C:プチプチには色はついていないけど、もようが出たよ。 C:メッシュ折り紙とセロハンを重ねると、色ともようが出たよ。 C:とう明シートの時は色のはっきり出たけど、プラ段の時はやさしい色になった。  〈透明ビニールシート上で試す活動〉  〈卵パックも使えるね!〉	○ミニサッカーゴールの上に透明ビニールシートやプラスチック段ボールを敷いた「素材お試しコーナー」を自由に行き来できるベランダに用意しました。  <b>おすすめコンテンツ</b>  〈プラスチック段ボール上で試す活動〉 ◆透明ビニールシートとプラスチック段ボールの上に、光を通す素材を乗せ、その組み合わせや形や色の変化を確認しながら、 <u>素材鑑賞を行いました。</u> ○カラーセロハン、花紙（薄葉紙）などの材料置き場を決め、いろいろな素材を試しました。  <b>おすすめコンテンツ</b> ◆異素材の材料を組み合わせで新しい見え方を見つけた児童や、色を重ねて違う色をつくりだしている児童を称賛することで、他の児童に意識させました。  〈薄用紙+プチプチシートで模様が出た!〉	鑑①光を通すことによって生まれる形や色、表し方や材料による感じの違いなどを捉え、よさや面白さを感じ取っている。 【観察、ワークシート】  〈ビニールシートよりもほんやりしている!〉  〈セロハン+セロハンで別の色発見!〉  

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">表現活動 ①</p>	<p>・アイディアスケッチをかく。</p>  <p>〈スタンドグラスから発想した児童のアイディアスケッチ〉</p> <p>・透明ビニールシートにかいたり、貼ったりする。</p> 	<p>◆<u>高齢者の方に向けて制作することを伝え意欲をもたせました。視覚や視力が高齢になるにつれて、どのような変化があるかを説明しました。</u></p> <p>T:段々年を取っていくと、全体的に黄色味がかって、ぼんやりしてくるそうです。薄い色は分かりにくいそうです。</p> 	<p>発 光を通した時の形や色の見え方を試しながら、表したいことを見付けている。</p> <p>【観察、ワークシート】</p>  <p>技 光を通した効果、高齢者の方(人)、高齢者施設(場所)を意識して、形や色の表し方を工夫している。</p> <p>【作品、ワークシート】</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">鑑賞 【中間鑑賞】</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<p>中間鑑賞</p> <p>・友達の作品のよいところを見付ける。</p> <p>T:自分や友達の工夫しているところを見つけてみよう。</p> <p>C:色を重ねて新しい色ができていくよ。</p> <p>C:四角をたくさん使っているけど、向きが一つ一つちがうところがいい。</p> <p>C:秋を感じる花を散りばめているよ。おじいちゃん、おばあちゃんがすきそうな花だね。</p> <p>C:いろいろな材料を組み合わせると、見え方が少しずつ違って面白い。</p> <p>C:でこぼこしたものとぺたっとしたものを組み合わせると、立体的に見えるよ。</p>	<p>◆<u>鑑賞する際のポイント(①形や色、②材料の組合せ、③高齢者を意識)</u>を示しました。また、<u>自分のイメージにつながるような技法や材料を見付けるように促しました。</u></p> <p>○個人で、グループでじっくり鑑賞できるように、掲示する場所をグループごとに離しました。</p> <p>〈グループで対話しながら見る活動〉</p>  <p>◆鑑賞タイムで気付いたよさや、アドバイスを色分けした付箋に書き、グループの友達に渡しました。</p> <p>・<u>友達からもらった感想やアドバイス、自分の作品に生かしたいところなど、鑑賞する際のポイントを基に発表させました。〔共通事項〕を意識できるように声掛けをしました。</u></p>

鑑賞 【中間鑑賞】

B

4

・付箋を交換し、友達が見つけてくれた「作品のよいところ」を発表する。



四角をいっぱいつかっていて  
おておきがちがっていて、  
おもしろい。  
花のまん中にふくさちが  
あるのがいい!!  
Aさん はおじいちゃん  
おばあちゃん見えるようにこめい  
色をつかっている。

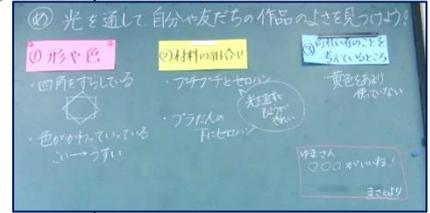
C1: C2さんから、「不思議な形が  
いっぱい、ファンタジーの  
世界みたい」と書かれていま  
した。

T: C2さんは、C1さんのどの辺  
りを見てそう感じたのかな。

C2: この辺りのプラ段をたくさん  
切って作っている形がファン  
タジーの世界みたいでした。

鑑②光を通すことによっ  
て生まれる形や色を見  
て、自分の思いを話した  
り、友達の考えを聞いた  
りして、表現の工夫を感  
じ取っている。

【発表、ワークシート】



「かんじょうタイム」に友だちと話ししたり、友だちの作品を見たりして、いざな  
ガク、色を使って Bさん のは、プラダンと  
セロハン、を使っています。とおもいました。  
Cさん は人をひらげ人して見る  
人もとおもいました。とおもいました。  
こまたちはいろいろな材料を使ってみた  
いとおもいました。

Dさん の色がよかった  
ので色をまわしてみたいです。  
そと Eさん のプラダン  
とセロハンを使っていたのがよ  
かった。で、ぼくもプラダンとセロ  
ハンを使いたいです。

〈中間鑑賞後、表現活動へ生かしてみたいこと〉

表現活動

②

5

・新しい材料の使い道や組み  
合わせ方など、アドバイス  
や友達の作品を参考に表現  
する。



◆前時の鑑賞タイムで見つけた形や  
色、材料の組合せ、高齢者を意識し  
た、それぞれの視点でよさを想起  
させ、自分の作品に生かせそうなもの  
を取り入れるように声掛けをしま  
した。

◆前回の振り返りカードで困ってい  
るところがあると答えた児童には、  
解決できそうな表現をしている児  
童の作品を見に行かせたり、まだや  
ったことがない材料を組み合わせ  
たりするように声掛けをしました。

関②光を通すことによっ  
て生まれる形や色の面  
白さに興味をもち、絵に  
表すことを楽しんでい  
る。 【観察、作品】

技光を通した効果、高齢者  
の方(人)、高齢者施設  
(場所)を意識して、形  
や色の表し方を工夫し  
ている。 【観察、作品】

★だれの作品のどんなよさを 自分の作品に取り入れましたか?  
だれの  
F さん  
どんなところを取り入れましたか。  
私は花をつくりました。でも、花を大きく見せる  
ことができなかった。ので、花びらをたてしてみました。  
そしたら少しは大きく、見えて、こめい色も使ったので  
F さんの花のように自立つよになりました  
と思います。



〈スタンドグラスから発想した  
児童の表現活動〉

作品の鑑賞

- ・ 作品に題名をつけ、自分の作品について中間鑑賞後変更したところを発表する。



○中間鑑賞後に変化したところ、その理由について、作品を指さしながら発表するように伝えました。全部の作品を見渡せるように、音楽室の窓に展示して活動しました。

おすすめコンテンツ

鑑②光を通すことによって生まれる形や色を見て、自分の思いを話したり、友達の考えを聞いたりして、表現の工夫を感じ取っている。

【発表、ワークシート】



〈自分の作品と参考にした作品を指し示しながらの発表〉

- ・ 作品の展示の方法について考える。(グループ→全体)

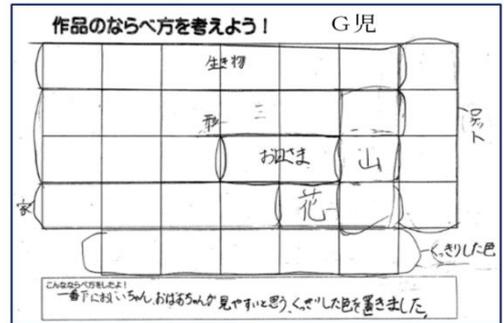
C:同じような絵を斜めに並べてもいいかもね。

◆5×7の枠の中に、どのような展示の仕方や並べ方があるかを話し合いました。その際の「共通事項」の視点で話し合うように声掛けしました。



C:ロケットや富士山とかは高いイメージだから、上の方に置いてみたら？

C:おじいちゃん、おばあちゃんが好きそうな和風の絵を下に置いてみたら？



6



○グループで話し合っ、考えた展示の方法を、電子黒板のマス目を利用して発表させました。

おすすめコンテンツ

- ・ クラス全体の考えをまとめる。

C:ぼくたちのグループでは、一番下にくっきりした色を使ったもようの仲間を集めました。おじいちゃん、おばあちゃんたちに見やすいと思ったからです。真ん中のあたりに、富士山や花など、自然をならべました。

他の人の意見が分かりました。自分とちがう意見が聞けて、すごく楽しかったです。ぼくも、他の人に意見をいえました。また、このじっぎょうをやりたいです。今日は、自分の意見をいっばいしてよかったです。

双方向の時に他の人の意見を聞いた。自分の考えをいっばい出来たので、良かったと思います。おじいちゃんやおばあちゃんたちに見やすいように、いろんなことを考えることが出来たので、自分的には良かったと思います。最後の発表、楽しかったです。

- ・ 題材の振り返りをする。

・ 総合的な学習の時間に訪問する高齢者施設で、絵の展示をすることで、高齢者と交流する意欲をもたせました。

総合的な学習の時間	<p>〈高齢者との交流〉</p>   
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">〈「光のさしこむ絵」の感想（高齢者の方々から）〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">H 小学4年生の生徒の作品 並に秋の響奏 逆さ上手 たにぎ合わせでもらいまし 富士山、太陽の日の出 虹の あ景色上手でした 光のさしこむ絵 とさしこむ絵</p> <p style="text-align: center;">かすど、はっ衣、はり冷かどって 明るさきい、て上手でした</p> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">〈高齢者の方々からの手紙を読んで〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>よろばれていて良かったです。 作る時、これから元気で長生きして下さい。お 絵を見て元気がでるといいなと思いますから作る ので伝わり良かったです。</p> <p>おじいちゃんとおばあちゃんによろこんでるおひなまつ し自分つくしたかた気持ちおかげでもりえな かったと思います。</p> <p>おじいちゃん、おばあちゃんによろこんでる。 うれしいです。 自分で作る作品がこんなに楽しくていいです。 絵作りたいです。</p> </div> </div> </div>

#### (4) 検証授業の分析と児童の変容

本研究では、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育てる授業づくりを目指してきました。そのために、表現活動に生かすための段階的な鑑賞活動を設定し、図画工作科の学習が生活や社会とつながっていると実感させる手立てを取り入れました。「鑑賞活動を表現活動に生かすことができたか」「図画工作科の学習が生活や社会とつながっていると実感できたか」、この2点について児童のワークシートの記述やアンケートを基に学級全体と抽出児で見取りました。

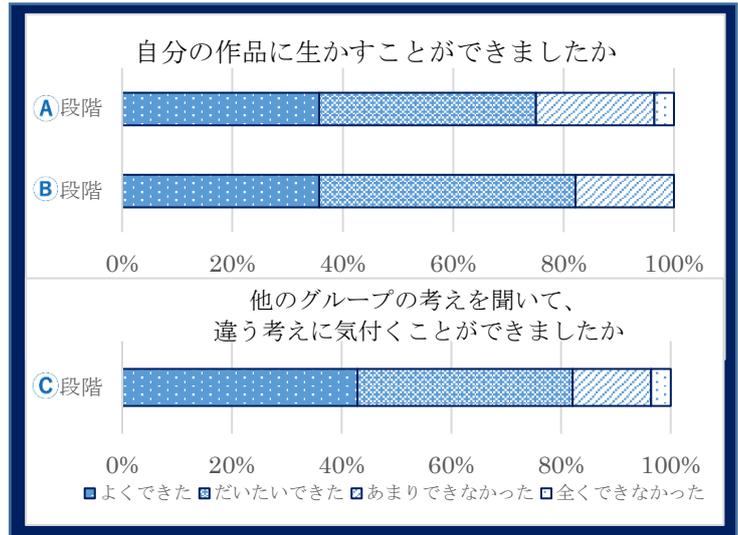


図1 鑑賞活動の効果に対する自己評価の変化

#### <学級全体の変容>

##### ア 鑑賞活動を表現活動に生かすことができたか

段階ごとの鑑賞タイム（研究の実際-2 図3 A B C 段階）について児童は図1のように自己評価しています。鑑賞タイムが表現活動へ「生かすことができた」と答えた児童は素材鑑賞のA段階では75%、中間鑑賞のB段階では83%となり、B段階の方が上昇しています。このことから「自分の作品に生かすことができた」と実感できたことがうかがえます。作品鑑賞のC段階では80%以上の児童が自分や自分のグループと違う考えに気付いたようです。

また、図2「鑑賞タイムは役に立つと思いますか」の問いに、検証授業前の調査では、「とても役に立つ」「役に立つ」と答えた児童は67%でしたが、授業後には97%に増加しました。一方、「役に立たない」と答えた児童は、その理由として「自分のやり方を貫きたいから」という建設的な意見を述べています。

「鑑賞タイムでどんなところが役に立ちましたか」の問いには、図3のように「作品をつくる時の参考にしたい（発想や構想の能力）」という意見が最も多く、続いて「アイデアが浮かぶ（発想や構想の能力）」「どうやってつくればよいか分かる（創造的な技能）」「友達の作品のよさが分かる（鑑賞の能力）」と、表現活動に生かすことだけではなく、形や色を中心に鑑賞の視点を意識しながら「みる」ことが、図画工作科で求める様々な能力につながっていることがうかがえます。

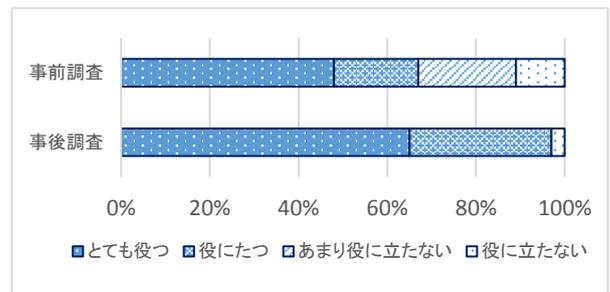


図2 質問「鑑賞タイムは役に立つと思いますか」

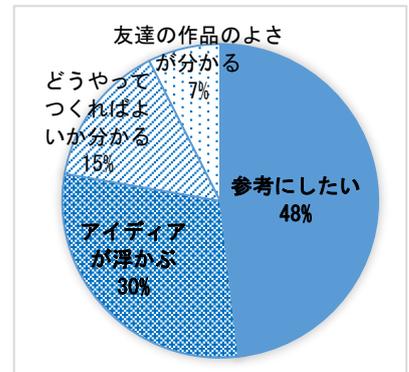


図3 質問「鑑賞タイムでどんなところが役に立ちましたか」

##### イ 図画工作科の学習が生活や社会とつながっていると実感できたか

題材全体を通して、高齢者を元気づけるために、また、学校外に作品が展示されることを意識させて活動に取り組みせました。作品展示後には学校外の方からの評価を頂きました。

次頁図4のように「生活の中で図工の学習が役に立っていますか」の問いに、「役に立つ」「少し役に

立つ」と答えた児童が増え、「あまり役に立たない」「役に立たない」と答えた児童は半数に減りました。学校外に展示され、それを見られた方から直接感想や手紙をもらったことが喜びややりがいにつながり、図画工作科での学習が生活や社会の中で役立っているという実感が持てたのではないかと考えます。

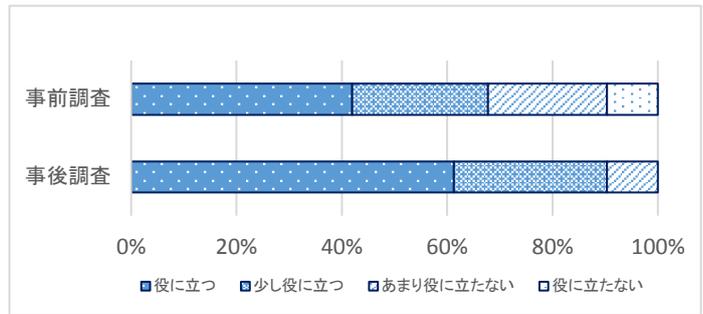
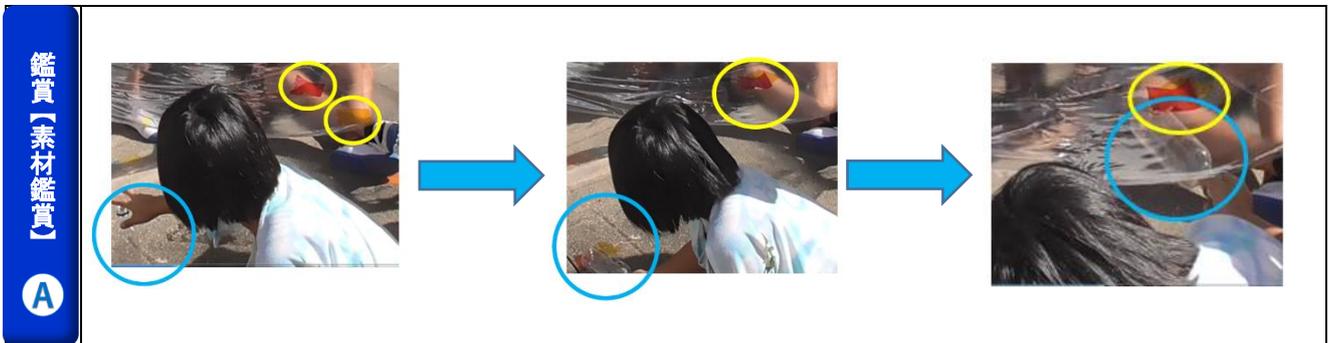


図4 質問「生活の中で図工の学習は役に立っていますか」

<抽出児の変容>

本研究の効果を抽出児のアイディアスケッチ、ワークシートや振り返りの記述、作品等を基に述べます。

抽出児のI児は、事前アンケートによると「図工はとても好き」だが、「アイディアは浮かぶがどんな風につくってよいか分からない」と答えていました。日頃から「発想から表現へ」と、どうつなげてよいか分からず困ることがありました。



I児は素材鑑賞の時は、ペットボトルとカラーセロハンを組み合わせ、光を通した見え方の違いを試していました。始めは、2色のカラーセロハンを別々に透明ビニールシートの上に置き、ペットボトルを地面に置きました。次に、2色のカラーセロハンの一部を重ね、地面のペットボトルを寝かせ、色の写り方を確かめていました。最後に透明ビニールシートのすぐ下にペットボトルを持ってきて、再度色の写り方を見比べていました。試行錯誤しながら、素材や置き方の違いによる「形や色」の見え方の違いに気付いていました。この時、I児は造形的な見方・考え方を働かせていたことがうかがえます。

次に、I児の作品の変容を見ていきます。

	I児の作品の変容	鑑賞タイム	ワークシートや振り返りカード
表現活動①		<p>【同じグループのJ児の製作の様子】</p>	

